

庁舎問題等検討町民委員会の内容をお知らせします

第1回委員会

7月6日（月）、第1回庁舎問題等検討町民委員会が開催されました。委員会は、学識経験者として徳山大学教授、町関係団体から町自治会連絡協議会、老人クラブ連合会、心身障害者協議会、社会福祉協議会、まちづくり推進協議会、商工会、山口銀行、南すおう農業協同組合の代表者で構成されています。委員会では、これまでの経緯、公共施設の現状と課題、整備計画として考えられる3案の概要、取り巻く課題などを協議し、その後、庁舎への活用案がある旧田布施工業高校本館を視察しました。

公共施設の現状と課題

・本庁舎
築後45年が経過し、老朽化が進んでいます。耐震化工事を行うと鉄骨ブレスなどの設置で窓口スペースが大幅に減少し、業務への支障が懸念されます。また長寿命化工事も必要となりますが、築後45年が経過しており、その効果は不

透明です。

中央公民館

昭和43年建築、町施設のなかでも老朽化が著しく、耐震補強も必要となりますが、施設寿命が延びる訳ではありません。現在、教育委員会関係課、社会福祉協議会が入室しています。

保健センター

西田布施公民館との併設で、場所が分かりにくいとの声も。今後、子育て・介護支援で役割が重要になる施設です。

その他の施設

この他にも築後30年を経過する施設が多く、施設ごとの更新・統廃合・廃止などを検討する公共施設等総合管理計画の策定を予定しています。

庁舎整備3案の比較検討

こうした公共施設の現状と課題、財政事情も踏まえ、委員会では、①案として現庁舎を大規模改造して使用していく計画、②案として旧田布施工業高校の本館（4階建）を利活用し、役場機能に移転する計画、③案として新築する計画が比較検討されました。この3案の主なポイントを比

較した表は以下のとおりです。詳細は町ホームページに掲載し、皆さまのご意見を募集しています。

取り巻く課題

本町でも、人口減少が深刻な問題となっています。こうした人口減少に伴い、税収減など地方自治体の財政は一層深刻になると予測されます。また、これまで建設してきた多くの施設の老朽化対策、更新対策、維持管理経費を誰が負担していくのかなど多くの課題を抱えています。

今後の対応について

委員会では、②案・③案を中心に検討してはとの意見があり、各団体などで意見・要望を取りまとめ、基本方針案を決め、具体的な検討を進めることとなりました。



		①案 ＜現庁舎の改築＞	②案 ＜旧田布施工業高校の利活用＞	③案 ＜新築（現位置の場合）＞
整備計画の概要		老朽化し耐震性のない現庁舎を大規模改造（耐震補強工事＋長寿命化工事）し、今後も庁舎として利用	田布施工業高校本館（4階建）の庁舎改修工事と長寿命化工事を実施し、庁舎機能に移転	新築（現位置への庁舎新築）
庁舎規模など	事務室など	1,116㎡	1,263㎡	庁舎規模は②案の旧田布施工業高校の利用案と同規模・同機能として試算
	会議室など	349㎡	328㎡	
	倉庫など	195㎡	248㎡	
	駐車場	190台	203台（別位置含む）	***
	共通機能	エレベーター設備、非常用発電設備		
事業費の概算		5億 8,641 万円 （仮設庁舎工事を含む）	6億 851 万円 （用地・建物購入費を含む）	11億 214 万円 （仮設庁舎工事を含む）
主な課題と問題点		・保健センターなどは併設困難 ・耐震補強で窓口面積が減り、これまでのサービスの維持は困難 ・長寿命化工事も築後45年が経過しており、効果が不透明 ・教育委員会は含まない	・保健センターなどは併設困難 ・グラウンド駐車場からの段差、距離の解消策（スロープ・エレベーターなどの検討）が必要と考えられる ・文書庫、倉庫の確保	・保健センターは併設困難（②案と同規模などの場合） ・財政事情からすれば、庁舎建設だけで多額の経費を起債対応することは、他の施策に影響を与える恐れがある